

学校だより

プラタナス



令和3年6月8日(火)

市川市立市川小学校
No.9 校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/ichikawa-sho>



時の記念日を前に…自分と相手の時間を大事にする！

明後日6月10日は「時の記念日」です。『時は金なり』という言葉もあります。そこで今回は、『時間を守る』ことについて考えてみることにしました。

「日本人は時間に正確だ」とよく言われます。特に、日本の鉄道の正確さは世界一と言えるようで、定時運行率は90%を超え、年間平均遅延時間はJR東日本の在来線で1.1分とあります。ちなみに、日本の鉄道は、1分以上の遅れは「遅延」となりますが、海外では10～15分程度の遅れなら「遅延」とみなさない場合が多いそうです。

ブラジルのジョークを一つ紹介。駅で列車を待つ客が、列車が来たのを見て言います。「おっ、今日は珍しく定時に来たね。」すると、駅員が言います。「お客さん、この列車はまる1日遅れの列車ですよ。」日本では遅れるのはもちろん、早く出発してもお詫びする事態になります。お国柄です。

さて、この「時間」というものは、誰にも平等に与えられています。そして、誰でも一日24時間であり、それ以上でも以下でもありません。ですから、たった一瞬という短い時間であっても、それは私たち一人ひとりの人生の一部と言えます。そう考えると、『時間を守る』ということは自分のためでもあり、相手を尊重してよい人間関係を築くための基本ともいえるわけです。

ところで、「あなたは自分の時間を大事にしていますか？」と聞かれたらどのように答えるでしょう。「そんなこと、意識したことがない」という人が大半を占めるかも知れません。でも、誰でも待たされるのは嫌なものです。ときには、イライラして時間を無駄にしたと覚えることもあるはずですよ。

逆に、他人の時間に対してはどうでしょうか？携帯電話やメールで気軽に連絡がとれるようになった近年は、予定時刻に遅れてもあまり気にしないような傾向があるのかもしれませんが。昔と違って、すぐに連絡がとれることは便利ではありますが、だからといって相手を待たせてもよいということにはなりません。仕事でもプライベートでも、『時間を守る』ということは重要であり、互いの信頼関係にもつながります。約束に遅れないようにすることは、相手の時間を無駄にしないことであり、相手を尊重することの表れ（メッセージ）でもあります。

でも、「うっかり」ということはありがちです。相手を待たせないために、あるいは期限を守るためにどうすればよいのでしょうか。時間管理術研究所 水口和彦氏の考え方は参考になります。

(1) 予定時間の書き方、時間や期限管理の仕方を変える

午後3時から会議予定があるとした場合、手帳等にその時刻を書きますが、実は「本当の予定」はそれ以前から始まります。この「本当の予定」というのは、自分が会議の場所に向かって移動する時間も含めた予定であり、「行動開始時刻」と呼んでいます。これにより、うっかり出遅れるといった失敗がなくなります。

⇒ よく子どもたちに指導する「5分前行動」もこの一つかも知れません。

(2) あまり時間のかからないことは後回しにしない

例えば、「5分以内で終わるだろう」と判断したことは、あえて後回しにせず、その場でやってしまいます。5分以内に終わることは意外に多いので、その場で片づけてしまう「5分間ルール」は負担にならない上、スッキリするのでおすすめです。

⇒ 「面倒だから後にしよう」ではなく、「面倒だからこそ今やっちゃえ！」という感じです。



7月

丸数字は学年を表します



	14	水	クラブ活動		
	15	木	山梨方面林間学校⑤(～16日)		
1	木	朝会、授業参観③④	16	金	環境学習④ ※千葉商大と連携事業
2	金	授業参観①②	19	月	給食最終日
7	水	委員会活動	20	火	夏休み前集会
9	金	校内授業研究会	21	水	個人面談開始(～30日)

学校を安全で安心な場所に

大阪教育大学付属池田小学校の児童殺傷事件から、今日で二十年となります。包丁を持った犯人が校内に侵入し、一、二年生計8人が死亡、他の児童13人と教師2人が重軽傷を負った事件です。

この直後から不審者侵入に対応する門扉等の戸締りや来校者のチェック、さすまたや防犯グッズの設置、訓練実施など学校の安全に関して様々な見直しが行われました。大きなショックを与えたこの事件は、学校の転機となったのです。

今はどうでしょう？定着したこともある一方で、形骸化が心配されるものもあります。校内を巡回すると、コロナ禍における換気のために、昇降口が開放されているのがずっと気になっていきます。どの昇降口も管理棟からは見えない場所にあります。侵入されたら…と思うとゾッとします。そこで、廊下等の窓は開けてあるので、昇降口は通常閉めておくことにします。また、校内での声かけも積極的に行います。

保護者の方が物を届けに教室へ行く際も、必ず来客用玄関(事務室前)から出入りして、職員に声をかけくださるようお願いいたします。不審者侵入以外にも意識を高く持ち、皆が安全保持に力を注ぐことこそが、今一番大事なのではないでしょうか。

ここは児童の昇降口です
関係者以外の
出入りを禁じます
御用の方は、来客用玄関
へお回りください

祝 千葉県民の日

県民の日を目前に控え、改めて千葉県の成り立ちを学びます。

明治4年7月に廃藩置県が実施され、同年11月に房総にあった26県は印旛県・木更津県・新治県の3県になりました。印旛県は下総国の西北部を、木更津県は上総国と安房国を、新治県は下総国の東部と常陸国(今の茨城県)の南部を管轄しました。その後、明治6年6月15日に木更津県と印旛県が合併して「千葉県」が誕生しました。当時の千葉県の人口は103万人です。明治8年5月に新治県が廃止され、ここに管轄されていた香取・匝瑳・海上の3郡が千葉県に編入される等あって、ほぼ現在の形になりました。そして、明治6年の千葉県誕生の日を由来として、昭和59年に「6月15日」が『県民の日』として制定されたのです。

これを機会に、私たちみんなが、郷土を愛する心をはぐくみ、未来に向けて誇りに思えるような豊かな千葉県を築きたいと考えます。その第一歩は“千葉県を知る”ことからではないでしょうか。